

いちようだより

二月号



医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。

200号記念



「いちようだより」の記念すべき創刊号は、平成16年12月に発行されました。当時、精神科医療に対する理解を深めていくため、また地域の皆様に病院の取り組みを知っていただく手段としてスタートしたのが、この広報誌です。

この20年間で精神科医療を取り巻く状況は大きく変化しました。社会の変化とともにメンタルヘルスへの関心が高まり、精神科医療が果たす役割もさらに広がっています。近年では、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの方が孤立や不安を抱える中で、心のケアの重要性が一層認識されるようになりました。「いちようだより」は、こうした時代の流れに合わせて、地域の皆様に役立つ情報を発信し続けています。

創刊から20年近くが経ち、私たちは200号という大きな節目を迎えました。この間、多くの方々の協力と支えをいただきながら、地域医療と精神科医療の発展に寄与することを目指してまいりました。次号からも、読者の皆様に役立つ情報や病院の取り組みをわかりやすくお届けしてまいります。

引き続き「いちようだより」をどうぞよろしくお願いいたします。



いちようだより創刊号



いちようだより198号

節分行事



鬼は～外!!力いっぱい玉を投げて鬼退治をしています。

2月3日に、認知症治療病棟で、1日遅い節分行事を行いました。節分の日付は1985年～2020年までの36年間2月3日でしたが、2021年は2月2日になり、そして今回4年ぶりに2月2日となりました。節分は日本各地で厄を払い、新年の幸せを願う行事として昔から行われてきました。今回の節分行事では、鬼を玉で倒す『鬼退治ゲーム』を実施しました。患者さんは無病息災の願いを込めながら、力強く玉を投げ次々と鬼を倒していました。周りで見っていた患者さんも、一生懸命応援しており、とても盛り上がっていました。ゲームを行った方からは「楽しかった」「ストレス発散出来たよ」「スッキリするね」等の感想も聞かれ、みんなで冬の行事を楽しむことが出来ました。

初詣～デイケア～



雲の隙間から晴れ間が見える中、1月16日にデイケアの利用者さんと職員で防府天満宮へ初詣に行きました。冷たい風が吹く中でも、利用者の方々は熱心にそれぞれの願い事を祈っておられたようです。他の参拝客が多くはなくゆっくりと時間を過ごせたこともあり、春風楼からの眺めや普段見られない社の裏側も見て回ることもできました。



作業療法評価実習

1月8日～2月5日までの20日間、YICリハビリテーション大学3年生1名の作業療法評価学実習の受け入れを行いました。初めての精神科実習ということもあり、不安の多い様子でしたが、患者さんから温かく迎えられ日々関わらせていただく中で、精神科領域における作業療法の視点や考え方、作業療法士の役割について学びました。感染症の流行しやすい時期での実習ということもあり、制限の多い実習とはなりましたが、短い期間で多くの学びを得ることが出来たようです。今後も後輩育成に尽力し、精神科医療の発展に寄与していきたいと思えます。

どんど焼き

1月13日（月）に当院グラウンドにてどんど焼きを行いました。当院では門松やしめ縄、神棚飾りを職員が一つ一つ手作りしており、病院へ来られるお客様や患者さんへの年始のご挨拶に一役買っています。正月も過ぎ仕事を終えた飾りたちと、他の神棚飾りや患者さんの習字や絵画等を一緒に燃やす事で、今年1年間の無病息災を祈願いたしました。今年は風が強く、途中紙などが飛ばされたりしましたが、その分炎が強く、燃え残りなく全て綺麗に燃やすことができ、無事に終わることが出来ました。



編集後記

天気次第で日々の寒暖差も大きくなる今日この頃ですが体調はいかがでしょうか？この便りが届くころには春の兆しが見え過ぎやすくなっていることを願うばかりです。

全国各地インフルエンザが流行しており当院でも対策に追われる毎日です。

花粉も飛び始めているため体調管理により一層気を付けて乗り切っていきたいと思えます。